

つなぐ



茨城キリスト教学園
ニュースレター

第10号

vol.10

2024
OCTOBER

茨城キリスト教大学大学院 / 茨城キリスト教大学
茨城キリスト教学園高等学校 / 茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教大学附属認定こども園(みらい園・せいじ園)

発行日 2024.10.28.MON

編集・発行: 法人事務局学園広報

バックナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます →



キアラ館 50周年



キアラ館と振り返る50年

キアラ館は、オイルショック真っ只中の1974年に建築されました。

キアラ館構想から建築まで 1972～1974

サンタ・キアラ館(キアラ館)は、孤高の建築家と呼ばれる、白井晟一が設計し、短期大学の礼拝堂兼教室として1974年11月2日に竣工しました。白井晟一は、ドイツのハイデルベルク大学およびベルリン大学で哲学を学んだ異色の建築家で、ヨーロッパの教会建築への造詣も深く、初めて来た礼拝堂設計の依頼には、格別な思い入れがあったそうです。「真に思考し、人間形成ができる場所としての校舎が私の願いで、建物の大切さは教育の内容です」建設中は頻りに学園に足を運び、夜、何度となくシオンの丘に佇んで構想を練る氏の姿が目撃されていました。そんなキアラ館は、白井晟一が生涯で手掛けたたったひとつの礼拝堂となりました。



《虚白庵の白井晟一》1970年頃
画像提供：株式会社生野社



建設中のキアラ館



キアラ館竣工当時



キアラ館竣工当時

Review 草壁泰之先生
元短期大学学長
キアラ館計画時責任者

現実に完成したチャペル堂を目にした時、声も出ない程の衝撃でした。外観は太古の昔大地に生きた女性のたくましさ、豊かさ、温かさが表現されているようで、礼拝堂内は、母の胎内にあるような安らぎを感じました。聞いた話ですが、白井氏は「工事の人達が帰った後、ひとり薄暗い礼拝堂の中で、屏のデザインを夜を徹して思案されていたら、同氏は、建築に關しては絶対に妥協を許さない人だったので、初めて設計図を見た際、礼拝堂以外の部屋が三角あり五角あり、多様な形だったので、白井氏に問いましたところ、部屋が四角でなければならないという必然性はなく、工夫して自由に使用すればよいではないか、との返事でした。」

学園正門の門灯はキアラ館をオマージュした2種類の門灯が設置されています。



同時期に建てられたノアビルも同じような装飾やニュアンスを見ることができます。

Hommage キアラ館

キアラ館には、白井建築を代表する様々なオブジェクトが配置されています。それらのオマージュが他の校舎や学園正門にも使われています。



▲礼拝堂内

▲キアラ館入口扉

キアラ館について

外観と内部空間を紹介します。



日立市名誉市民称号授賞式
(ローガン・J・ファックス初代短大学長)



中学校クリスマス礼拝
(1983年)



永六輔氏講演会



大学看護学部開設記念式典
(2004年)



毎年、看護学部2年次生が看護の道をめざす決意のもと、キアラ館で宣誓式をおこないます。宣誓式は、参加した来賓・保護者と共に、生命の尊さや生きることの意味について問いかける時間でもあり、厳かな空間に身を委ねる貴重な体験でもあります。



看護学部宣誓式



Review 直井みちさん
大学OB
キャンパニー代表
神のなさることは、すべての時にかなって美しい。
(伝道の書3章11節)
夫婦一人とも結婚式はキアラ館で、本当の礼拝で挙げたかったんです。学生時代から心の癒しの場でもあったキアラ館。この真の祈りの場で、集まってくれた人に自分たちを見てもらうことは意味があると思っていました。卒業してアメリカに渡り、東京、大阪で働いていた自分がまさか日立に戻り、同じ学部の卒業生と結ばれて、キアラ館で挙式をするとは。神様は本当に想像を超えることをして下さると実感しました。



コンサート



学園クリスマス

Review 河野りつさん
中高でコーラス部所属
現・学園職員
キアラ館で歌えることは大きな喜びでした。レンガ造りの礼拝堂は音響が素晴らしい、歌っている自分たちにも聴いて下さるお客さんたちにも一瞬一瞬が特別な経験になったと思います。



特徴的な外観

これはキアラ館の1F見取り図ですが、特に外観は見る場所や角度によって面白いほど形や雰囲気が変わります。暗い礼拝堂から外に出た瞬間の光も計算されているようです。





茨城キリスト教大学附属認定こども園では、みらい園、せいじ園のあい組（年長組）の子どもたちが大学の留学生たちとふれあう「グローバル教育 せかいを知らう」が行われています。6月はイタリア・ミラノ大学の留学生。7月には中国・広東海洋大学の留学生たちが民族衣装に身を包んで登場し、子どもたちは色鮮やかな刺繍に「かっこいい！きれい！」と大興奮で、新鮮な国際交流を体験しました。



ホットピックスでは学園や各設置校のイベント活動を紹介しています。



大学 現代英語学科20周年記念式典

現代英語学科(DCE)は、今年、英語英米文学科から名称変更して20年目を迎えました。9月7日(土)、大学新1号館にて20周年記念行事を開催しました。卒業生やそのご家族、教職員、インターン生、在学学生が170名以上集まり、講演会、



ワークショップ、模擬授業、懇親会などでこれまでの歩みを振り返りつつ、再会を喜びました。



記事はこちら



高等学校 オーストラリア短期留学に行ってきました！

7月20日(土)～8月3日(土)にかけて、高校2年生15名と引率者2名でオーストラリアのBeaconhills College(ビーコンヒルズ高校)へ短期留学に行ってきました。ホームステイをしながらビーコンヒルズ

記事はこちら



高校の特別授業に参加して、現地の人々と積極的に交流を図りました。この経験は、参加した生徒たちにとって大変貴重な財産となったことでしょう！

中学校 大人気の自然体験キャンプ！

7月に2年生の自然体験キャンプを実施しました。これは大自然を満喫し、自然の中で生きる人間の在り方を学ぶ重要な学校行事です。2024年度は群馬と新潟の県境、谷川岳がそびえる群馬県みなかみ町で、普段は体験できない様々な

活動に取り組みました。心と身体で感じるキャンプは、「生きる力」を体得する本校ならではの学習空間です！

記事はこちら



こども園 お友だちと協力！うんどう会

戸外で体を動かすことが気持ちの良い季節。2学期は「充実期」と呼ばれ、子どもたちは心も体も成長し、いろいろなことへの挑戦を通じてたくさんの発見や感動を味わっています。10月に、せいじ園・みらい園ともに開催された「うんどう会」では力いっぱい走ったり踊ったり、お友だちと協力

したり、元気いっぱいでした。子どもたちが日々喜びや楽しさ、悔しさ、思いやりなどいろいろな気持ちを経験し、心豊かに成長できるよう願いながら、向き合っていきたいと思います。



学園のシンボル、キアラ館礼拝堂が50歳の誕生日を迎えました。

孤高の建築家の手で何もない荒野のキャンパスに生を受けたキアラ館礼拝堂は、風雪に耐え、今は豊かな緑に囲まれ静かに佇んでいます。一歩中に入ると、そこは変わらず学生や生徒たちの心に平安をもたらしてくれる癒しの空間が広がります。この礼拝堂は、学園で過ごしたどれだけ多くの人たちの思い出となってきたことでしょうか。レンガの壁にはどれほど多くの祈りがしみ込んでいるのでしょうか。

チャペルや音楽会、数々のイベント…。キアラ館は、今もこれからも“生きている礼拝堂”です。

適切なケアを施して建築的価値を保ちながら、より多くの方に学園の精神を感じてもらいたいと考えています。

(2024/10/28)



学園キアラ館
ウェブページ

